

木更市制施行80周年記念事業実行委員会会議録

令和5年3月27日作成

会議名	第6回 木更津市制施行80周年記念事業実行委員会		
開催日	令和5年3月24日(金)	場所	駅前庁舎 防災室・会議室
時間	13時30分～15時00分まで		
出席者	実行委員会委員) 別紙名簿のとおり 事務局) 企画部：渡辺企画部次長、水谷企画課長、影山企画課長補佐、平野主任主事		
議題	(1) 事業報告について (2) 収支決算報告 (3) 実行委員会の解散について		
その他	なし。		
配付資料	会議次第 資料1 広報きさらづ3月号折込「木更津市制施行80周年記念事業の振り返り」 資料2 記念ソング「星を見に行こう」楽譜 資料3 市制施行80周年記念事業実行委員会事業報告書(案) 資料4 収支決算書・収支監査報告書(写)		
概要	議題(1) 事業報告について 【説明】 ●水谷企画課長説明 (資料1-1～資料1-3に沿って説明) 運営部会については、「記念事業総集編動画」を作成した。 80周年記念事業では、多種多様なイベントや事業が実施された。80周年記念事業の取組方針として掲げた、「市民のシビックプライドの醸成」、「市民と未来ビジョンの共有」、「市民とのパートナーシップの実現」の3つのコンセプトのもと、「これまで」と「これから」を結ぶ節目の年として各種事業が展開されたが、これらのイベントを今後につなげられるよう、その事業の様子を1分間と30秒間の2本の動画を作成した。 【作成動画視聴】 周年事業は終了するが、どのような催しを行ったのかを振り返る縁(よすが)となり、記念事業に参加した一体感など追想していただけるよう、今後も各公民館や市のデジタルサイネージ、YouTubeをはじめとするSNSで発信していく。 プロモーション部会につきましては、広報きさらづ記念事業振り返り号の制作、記念誌の増刷、記念ソングの楽譜作成を実施した。 広報きさらづ記念事業振り返り号については、市民の皆さまに様々な事業を実施してきたことをお知らせするため、広報きさらづ3月号に折り込みをさせていただいた。 記念誌については、当初5千部を制作したが、記念式典や記念事業での配付のほか、海ほたる・JR木更津駅などの市内各所に配架したところ、大変好評を博し、増刷を行った。現在は、市内外の皆さまに多くお届けできるように、JR木更津駅改札付近に専用のラックを設置し、配架している。 記念ソングの楽譜作成については、80周年記念ソング「星を見に行こう」を、楽譜として書き起こしていただき、小中学校などで活用いただけるよう周知を行うとともに、市民の方々にも合唱や演奏を行えるよう、市公式ホームページで、音源や楽譜、歌詞を公開している。多くの方々にも歌い継がれる曲となることを期待している。		

次に、職員課が実施した、「きさらぶコレクション回想ギャラリー」については、11月3日に開催された、子どもたちによるファッションショー「きさらぶコレクション2022」における、共生社会の実現とふるさと木更津への愛着と未来に向けた思いを共有していただき、木更津市の明るい未来を再び感じていただくため、2月18日にイオンモール木更津で新規採用職員により開催された。

新規採用職員は、この展示会のテーマを「百花繚乱～未来ある子どもたちが作り上げる八色の虹～」として、虹は7色であるという固定概念をなくすように、未来へ向けて多様性を大切にしようという願いを込め、モデルの子供たちが、実際に着用した衣装30着及び当日の写真等の展示、当日の動画や衣装を製作した木更津東高等学校の生徒及び運営側のコメント動画の映写、モデルが着用した衣装を製作する際に発生した端切れを使用したしおりづくりのワークショップのほか、ファッションブランド「tenbo」代表の鶴田氏や木更津東高等学校の生徒、市の職員によるトークショーが行われた。

新規採用職員が行政運営の担い手であることや責任感を持つことなど、協調性や連帯感を育むことができたことと、多くの市民が立ち寄っていただき、市民の皆さんと感動を共有することができた。

最後に、木更津市制施行80周年記念事業の全事業の報告として、「木更津市制施行80周年記念事業実績報告書」を作成した。

市制施行80周年という記念の年を「これまで」の歩みと「これから」を結ぶ年と位置づけ、市民をはじめ、地域、企業、各種団体、行政等が市のまちづくりの担い手として連携し、新たな未来に向けて、さらなる飛躍・発展・躍動の契機することを基本理念とし、3つのコンセプトに基づき、様々な記念事業を実施してきた。

実行委員会実施事業として、市民と共に木更津の未来を考える「きさらぶ未来会議」、環境にやさしい自転車を活用した市内周遊イベント「ライドハンターズ in 木更津」、パートナーシップの実現のコンセプトのもと、市内小中学生の協力を得て行われた「市制施行80周年記念式典」、共生社会の実現とふるさと木更津への愛着、未来に向けた思いを共有した「きさらぶコレクション」、地域の様々な主体とのパートナーシップを図りながら、スポーツを通じた地域ブランドの向上を目指すべく行われた「RUNイベント」、将来を担う子どもたちが、3Rや身近な環境問題について自ら考えるきっかけとなるための「キッズリサイクルデイ」など実施された。

その他、記念きさポン・ロゴマーク、子どもたちの書いた絵をデザインした「きさらぶパレット」、「記念誌」、「市勢要覧」などの発行物やきさらぶパレットを活用した記念品、「木更津のこれまでの歩みとこれからを結ぶ」をテーマに作成された記念動画、地元アーティストによる記念ソング「星をみにいこう」の制作を行った。

市実施事業として、「男女共同参画フォーラム」を皮切りに人権や文学の講演会、体験型の事業、全国的なシンポジウム、小中学生将棋大会、音楽コンサート、ポスターコンクール、鎌足桜植樹事業、公民館事業、絵画展、防災のイベントなど様々な事業が行われた。

市民実施事業として、木更津みなとぐちアートプロジェクト2022をはじめ、木更津港まつり、高速ジェット船の臨時運行、木更津市文化祭、きさらぶオーガニックシティフェスティバル、木更津こどもまつり、きさらぶ福祉まつりなど、多くの人々を集客するイベントが行われた。

実行委員会実施事業が7事業、市実施事業が23事業、市民実施事業が31事業の全61事業が記念事業として実施された。

時間の都合上、各事業の詳細につきましては割愛するが、内容につきましては、後ほど実施報告書をご覧頂きたい。

この報告書をもって、木更津市へ実施報告をするものとしたたい。

【質疑応答・意見等】

○鹿島委員

記念ソングについて、あまり聞ける機会が無かったので、この場で流してもらう事は可能か。

→【記念動画現在編を再生】(使用楽曲が記念ソング)

【審議結果】

原案のとおり承認

議題（２） 収支決算報告

【説明】

水谷企画課長説明

（資料２に沿って説明）

始めに収入の部について、木更津市からの委託料3千674万5千円、その他雑収入が80円。委託金については、市からの委託金のほか、一般寄附やクラウドファンディングが含まれている。合計で3千674万5千80円。

続いて支出の部は、1 運営費（1）実行委員会事務費については、予算額70万円に対し、69万6千500円を支出し、差引3千950円となっている。主な支出は「記念事業総集編動画」の作成費と振込手数料。2 事業費については、それぞれの部会費ごとにご説明する。

（1）式典部会費については、予算額4百2万5千円に対し3百67万2千570円を支出し、差引35万4千743円となった。主な支出は会場借上料、招待者への記念品等でございます。

（2）未来ビジョン部会費については、予算額102万8千円に対し、101万9千716円支出し、差引8千284円となっている。主な支出はワークショップを補完するツールとして試験的に実施した「みらい会議版 Liqlid（リクリッド）」の委託費用である。

（2）プロモーション部会費については、予算額1千564万9千円に対し、1千562万8千186円を支出し、差引2万814円でございます。詳細として、①記念誌等制作事業費については、予算額8百73万9千円に、168万7千900円の流用を行い、現行予算額1千42万6千900円に対し、1千42万1千908円支出し、差引4千992円となった。増額理由については、記念誌の増刷を行ったことと、記念品制作によるもの。

②記念動画制作及び情報発信事業費については、予算額691万円から①記念誌等制作事業費へ168万7千900円の流用を行い、現行予算額522万2千100円に対し、520万6千278円支出し、差引1万5千822円となった。主な支出は記念動画制作費であった。

（4）RUN イベント部会費については、予算額180万円に対し、179万9千930円を支出し、差引70円となった。主な支出はRUNイベントの事業委託費であった。

（5）CYCLE イベント部会費については、予算額280万円に対し、支出は280万円であった。主な支出はCYCLE イベント委託費であった。

（6）きさらぶコレクション部会費については、予算額904万3千円に、1万562円の予備費を充当し、現行予算額905万3千562円に対し、905万3千562円を支出したもの。主な支出はきさらぶコレクション業務委託費及びきさらぶコレクション2022展示会の委託費であった。

（7）3Rイベント部会費については、予算額70万円に対し、55万3千800円を支出し、差引14万6千200円であった。主な支出は「キッズリサイクルデイ」及び環境セミナー業務委託費であった。

3 予備費については、予算額98万9千438円が執行残となっている。

よって、総支出額は、3千522万1千501円となり、収入額との差、残額、152万3千579円となった。

152万3千579円につきましては、市に返還する。

鈴木敏江監事より収支監査報告

監査報告書の写しのとおり、令和5年3月20日に木更津市役所駅前庁舎において、「木更津市制施行80周年記念事業実行委員会に係る収支決算」について監査を行ったところ、執行状況は適正にして妥当なものであり、また、関係帳簿並びに証拠

書類を照合したところ誤りなく、適正に処理されているものと認められた。

【質疑応答・意見等】

特になし

【審議結果】

原案のとおり承認

議案（３）実行委員会の解散について

【説明】

水谷企画課長説明

本実行委員会をもって、木更津市制施行８０周年記念事業の実績報告及び収支決算報告について、委員の承認をいただいたことから、実行委員会の当初の目的を達成したとして、実行委員会規約第１６条の規定により、令和５年３月３１日をもって、木更津市制施行８０周年記念実行委員会を解散としたい。

実行委員会解散後の予定につきましては、実行委員会規約第１６条第２項の規定で、「委員会が解散する場合においては、全ての文書を木更津市に引き継ぐものとする。」とありますので、収支決算報告で申し上げました委託金の残金を市に返還し、併せて文書も引き継ぐよう事務局で手続きを進めさせていただく。

【質疑応答・意見等】

特になし

【審議結果】

原案のとおり承認

【全体を通して質疑応答・意見等】

○水島 享子委員

青少年相談員連絡協議会を代表して携わらせていただき、子どもたちの青少年育成という立場から意見をさせていただきたい。今後市制施行１００周年を見据え、このような実行委員会があり、記念式典含めたくさんのイベントが企画されるだろうと思う。その際は、どうか木更津市全ての子どもたちが何か携わることができるような事業が一つ入れていただけたら良いなと思う。記念品マグカップの柄など、一部の子どものしか関わっていない。そもそもそんなことを知らなかったという子どもがたくさんいるだろうと思われる。そのためひとりひとりが「自分もこの１００周年記念に関わっているんだ」という実感ができるものができたらいいなと考える。